

元気UP アップ通信



下関市長の部屋

検索

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/>



「3市合同防災図上訓練(1月17日/市役所本庁舎新館)で消防局長(左から2人目)の説明を受ける本間副市長、中尾市長、坂本副市長(右から)」

もしものときのために万全の備え 〜3市合同防災図上訓練〜



んには。市長の中尾友昭です。3月11日で東日本大震災の発生から6年が

経ちます。被災地では復興が進む一方、今もなお避難を余儀なくされている被災者が多くおられます。昨年は全国各地で自然災害が数多く発生しました。4月に熊本地震、10月に鳥取県中部地震と、立て続けに地震災害が発生し、8月には、震災の被災地が台風10号による風水害に見舞われました。この風水害により、本市と本州四端協議会の相互援助に関する協定を結んでいる岩手県宮古市も被害を受け、私も心を痛めました。被災された方には改めてお見舞い申し上げます。

今、南海トラフ巨大地震や菊川断層帯による地震がいつ発生してもおかしくない状況にあります。近年発生している大規模な災害から多くの教訓を得て、災害に備えておく必要があると強く感じています。家族や職場、地域の中で「防災」に対する市民の皆さんの意識もさらに高まったのではないかと思います。

このような中、本市では皆さんの尊い生命や財産を守るため、「下関市地域防災計画」に基づき、地震を含むあらゆる災害に対する防災対策などに取り組んでいます。今年の1月には菊川断層を震源とする地震災害が発生したと想定し、隣接する長門市・美祢市と合同で「3市合同防災図上訓練」を行いました。長門市・美祢市との災害時における相互応援体制をはじめ、市役所組織内での迅速な初動体制、各関係機関との連携などを確認しながら、緊迫感のある訓練となりました。

昨

年は、津波、高潮、土砂災害の各種災害のハザードマップの作成や配布、災害発生時に避難に関する情報などを電話で確認できる「しものせき緊急情報自動案内サービス」を開始しました。災害種別ごとの適・不適が分かる看板を避難所に設置するなど、市民の皆さんが、災害時に自分の身を守るために少しでも役立てていただけるよう、きめ細かな対策も進めています。

市民の皆さんも、地震などの各種災害に対する備えを忘れることなく、いざというときのために、日頃から家具の固定や、非常持出品の準備、避難ルートの確認など、まずは身の周りの安全対策に取り組んでください。

市民の皆さんも、地震などの各種災害に対する備えを忘れることなく、いざというときのために、日頃から家具の固定や、非常持出品の準備、避難ルートの確認など、まずは身の周りの安全対策に取り組んでください。

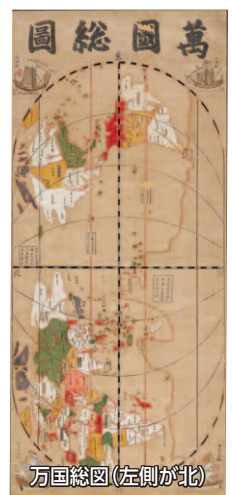
市民の皆さんも、地震などの各種災害に対する備えを忘れることなく、いざというときのために、日頃から家具の固定や、非常持出品の準備、避難ルートの確認など、まずは身の周りの安全対策に取り組んでください。

しものせきナビ vol.75

行って! 学んで! 博物館!

万国総図 人物図

下関市立歴史博物館蔵



万国総図(左側が北)

謙貞やその門下生らと推測されており、当時の日本人がどのように世界を認識していたかをうかがうことができます。

万国総図は、正保2(1645)年に長崎で刊行された日本最初の刊行世界図です。イエズス会の宣教師マテオ・リッチが考案した地図に倣った卵型の世界地図が中央に描かれており、四隅には日本船・大明船・オランダ船・南蛮船が見えます。

江戸時代、それまで東アジアと盛んに交流していた下関では直接的な海外との交渉の機会が失われました。国内流通の拠点であった下関には、対馬・長崎・薩摩を経由して朝鮮、中国やオランダなどの物産が集散し、朝鮮通信使やオランダ商館長一行が下関に滞在するなど、人々々が異文化に接する機会にも恵まれていたといえます。

人物図は万国総図と対をなすもので、万国総図に地名が記されたアジア・アフリカ・ヨーロッパなど40カ国の人々の姿が男女一対で描かれています。

下関の人々は外国人をどのように見ていたのか。本図をヒントに想像してみてください。

彩や墨書が施されている点特徴です。西図の作者は、長崎でオランダ人やポルトガル人から測量や航海術を学んだ樋口



人物図